

BOOK 本の紹介

協働が変える 役所の仕事・自治の未来

松下啓一著 萌書房(2013年6月)
定価1,575円(税込) ISBN 978-4860650766

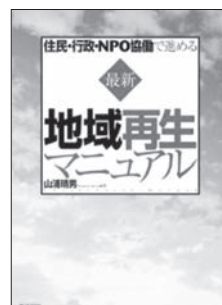
「協働とは、行政とともに市民が公益を担っていくことを意味します。それぞれが、存分に力を発揮して、市民が幸せに暮らせる社会をつくっていくものです」。自治体職員だった筆者ならではの視点から、宣誓書や採用試験の見直し、自治基本条例など、豊富な事例から協働の推進による役所の仕事の変化を書いている。行政と協働を進めるNPOは必見。



住民・行政・NPO 協働で進める 最新地域再生マニュアル

山浦晴男著 朝日新聞出版(2010年6月)
定価1,575円(税込) ISBN 978-4022507396

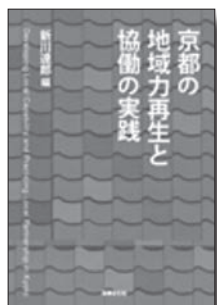
地域再生に立ち上がる住民の意識の壁を取り除く地域づくりの話し合いの場を「寄りあいワークショップ」と名付け、ファシリテーターとして様々な現場に立ち会う中で習得した進め方のヒントを、豊富な事例から解説。本書を通じて地域の課題と、地域に「連帯感の再生」を促すヒントが見えてくる。巻末には作業要領もあり参考にされたい。



京都の地域力再生と協働の実践

新川達郎著 法律文化社(2013年5月)
定価2,520円(税込) ISBN 978-4589035172

著者は、地域づくりを進めていこうとする地域住民・事業者・行政などの力を「地域力」と定義し、持続可能な地域社会づくりには協働の実践によって地域力を再生することが重要であると訴える。「一般論としての地域再生」「政策の枠組みについての考え方」「京都府の実践事例分析」の三部構成で、地域力協働のあり方を学ぶ参考書としてお勧め。



地域づくりワークショップ入門 —対話を楽しむ計画づくり—

傘木宏夫著 自治体研究社(2004年8月)
定価1,785円(税込) ISBN 978-4880374246

参加・協働の基本的な考え方や地域づくりの実践例、NPO活動の紹介やワークショップの具体的な手法など、広域に渡り分かりやすく紹介されている。地域づくりに必要な視点やコミュニケーションの場づくりのためのノウハウを学ぶ入門書として分かりやすい。協働を進める上で鍵となるコミュニケーション・対話の場づくりの参考として役立つ。



なぜ環境保全はうまくいかないのか —現場から考える「順応的ガバナンス」の可能性

宮内泰介著 新泉社(2013年2月)
定価2,520円(税込) ISBN 978-4787713018

数学的なデータに基づきかつ各関係主体が参加する、「社会的に正しい」はずの環境保全活動が得てして上手くいかない。編者はその原因に、地域にける価値観のズレ、制度と実体のズレなど様々な「ズレ」の存在を指摘し、それらズレを認識した上で地域や時代により柔軟に対応する「順応的ガバナンス」のあり方を、複数事例から明らかにしている。



ユキマロゲ経営理論

井口智裕著 柏艸舎(2013年5月)
定価1,600円(税込) ISBN 978-4-434-17754-5

手でこねた雪玉を転がすと一人では動かせないほど大きくなる。新潟の方言で「ユキマロゲ」という。地域づくりも事業を転がしながら雪だるまのように拡大するというのが「ユキマロゲ経営理論」だ。新潟・群馬・長野の3県・7市町村にまたがる広大な地域に、幅広い組織が連携・協働する「雪国観光圏推進協議会」の成長の過程を当事者自らが語る。

